

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議	会議場所 第3委員会室	
			担当職員 鈴木 智	
日 時	平成28年12月15日(木曜日)	開 議 午後 5時 08 分		
		閉 議 午後 5時 30 分		
出席委員		◎菱田 ○奥村(広聴部会長) ○山本(広報部会長) 三上 富谷 小川 並河 竹田 平本		
出席理事者				
事務局 出席者		門事務局長、山内次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、池永主任、山末主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名	議員0名()

会 議 の 概 要

17:08

[菱田委員長 開議]

1 中学生議会について

[奥村副委員長 説明]

- ・広聴部会で協議した結果、中学生議会を広報広聴会議で所管することとしてよいとの意見でまとまった。
- ・しかし、中学生議会については、議会運営委員会において、広報広聴会議で所管すること自体を決定する必要があるとの意見があり、そのことについて意見をいただきたい。
- ・中学生議会の開催については、カリキュラムのことがあるので、事前に協議しなければならないので、校園長会議に提案する必要がある。

<菱田委員長>

12月定例会中に、議運での決定がないと、1月から広報広聴会議で所管して進めていくことができないと考えている。その後、具体的に中学校と協議していきたい。

<平本委員>

中学生議会等は、今後も実施していくものであるのか確認したい。

<菱田委員長>

子ども議会を実施した後、選挙権年齢の関係で高校生議会を開催することとなった。この結果、中学生議会が実施されていないという事実があるので、それをカバーするという意味合いがある。

<平本委員>

主導的に実施するのはどこか。

<奥村副委員長>

わがまちトークに似た性質のものであるので、広聴部会が担当するのではないかと考える。

<菱田委員長>

これまでは議会の広聴機能として、広報広聴会議が担当してきた。その流れからすると、広聴部会が所管することとなる。

<三上委員>

子ども議会、高校生議会は広聴というより、議会を知ってもらい、市政への参画の

意識を学んでもらう意味合いが強かったのではないか。議会運営委員会において、広報広聴で所管することを決定するのが自然な流れではないか。

<奥村副委員長>

行政が実施すべきとの意見もある。また、広聴として子ども議会を実施して、意見を反映させているとも言えるのではないか。

<三上委員>

議会としても学んだことがあった。意味があったということで、議会だよりで特集する。

<菱田委員長>

議会のしくみを知ってもらうこともひとつの目的としてきた。議会としても意見を聴くことが大事である。議会運営委員会で実施を決定し、広報広聴会議で所管することまで、決定すべきだとの意見があった。

<奥村副委員長>

子ども議会も高校生議会も、議会全体の決定があって実施されたものである。それと同じように考えていきたい。

<竹田委員>

広報広聴会議で積極的に実施するというものではない。正副議長の決定により、実施することとしてきた経過があるので、一度総括をした中で、決定していかなければならないものとする。

<山本副委員長>

今後の方向性を協議していきたい。どういう意味合いで実施するのも検討しなければならない。

<菱田委員長>

中学生議会については、議長が議会運営委員会に実施を提案し、広報広聴会議で所管することも含めて決定するよう整理していく。このことを議長に伝えることとする。

2 わがまちトーク（自治会版）に係る意見、要望等について

<菱田委員長>

本梅町のわがまちトーク（自治会版）での所管について、No.7、No.8については、公共交通対策特別委員会の所管であるので変更する。

3 その他

<菱田委員長>

次回の広報広聴会議は、12月22日（木）本会議終了後に開催する。

散会 17:30